

第3章

計画の基本的な考え方

第3章

計画の基本的な考え方

1 基本理念

基本理念

すべての市民が、住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち・西宮

本計画は、第4次西宮市総合計画において掲げる将来のまちのイメージのひとつである「みんなが安心して暮らせる安全なまち」の実現に向け、10年後の本市の目指すべき医療のあり方を示すものです。本計画では、「すべての市民が、住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち・西宮」を基本理念とし、次に掲げる3つの基本目標を掲げ、その達成に向け各施策を実施していきます。

基本目標1 救急・災害時医療が充実したまち

救急や災害時など予期せぬ事態が発生した場合でも、すべての市民が、必要な医療を安心して受けられるまちの実現を目指します。

基本目標2 住み慣れた地域で適切な医療が受けられるまち

日常生活を営むうえで健康を害した場合でも、すべての市民が、住み慣れた地域で必要とされる適切な医療を受けることができるまちの実現を目指します。

基本目標3 健康でいきいきできるまち

すべての市民が、自ら進んでライフスタイルに合った健康づくりに取り組み、健康でいきいきとした生活が送れるまちの実現を目指します。

2

施策の体系

基本理念

すべての市民が、住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち・西宮

基本目標

1 救急・災害時医療が充実したまち

2 住み慣れた地域で適切な医療が受けられるまち

3 健康でいきいきできるまち

施策

① 救急医療の充実

② 災害時医療体制の強化

③ 健康危機管理の強化

① 在宅医療・介護連携体制の構築

② 医療連携の推進

③ 北部地域の医療課題の解決

① 疾病予防対策の充実

② 保健・医療に関する情報の発信と普及啓発の強化

① 市立中央病院の役割

